



①指導を受ながら初めてのそば打ちに挑戦②着物姿で静岡牧之原茶を味わう③日本の化粧品を使ってメイク技術を学ぶ④特別養護老人ホームの運営や機器を見学



### みんなが元気になってほしい

私たちは、歴史的建造物である旧木下家を中心に、郷土の歴史や文化の継承、環境保全や教育を目的にさまざまな体験学習を計画し、訪れた旅行者と地域の皆さんを結び交流活動を行っています。きれいな空気と緑豊かな自然の中での体験は、都会では決して味わうことができません。私たちとの交流を通して、旅行者や地域の皆さんが、心身共に元気になってもらいたいと思い活動を続けています。



NPO法人勝間田塾 副理事長  
横山真一 さん

人たちが増えてきています。市では、空港利用者（特に中国人旅行者）が市内に滞在するよう、地域の皆さんと共に、地域資源を生かした体験交流活動などに取り組んでいます。

**交流を深める取り組み**  
富士山静岡空港を育てる女性の会や勝間田塾、榛原里山の会などの市民の皆さんが「普段と変わらないあたたか牧之原市ならではのおもてなし」をモットーに、日本文化や茶摘み体験などを提供しています。

今年の3月には、浙江省からお茶の関係者が市を訪れ、勝間田塾（勝間田区）で着物の着付けや茶道を体験し、地元のお茶生産者との交流を楽しみました。

また、4月には四川省からの親子体験旅行団が訪れ、そば打ちや茶摘みを体験しました。体験した旅行者は「歴史のある建物の中で、日本の伝統的な食べ物を作ることがで

き、とても意義がありました。旅行者からは、この体験を通して地域の皆さんとの交流を楽しみ、市の自然や人の温かさに感動して帰国します。

この交流の様子は、旅行者により中国でも情報発信され、口コミによって広がります。今後さらに増加する訪日旅行者を市に取り込めるよう、市では地域団体をはじめ多くの関係団体と連携しながら、さらににぎわいあふれる地域を目指していきます。

き、とても意義がありました。旅行者からは、この体験を通して地域の皆さんとの交流を楽しみ、市の自然や人の温かさに感動して帰国します。

この交流の様子は、旅行者により中国でも情報発信され、口コミによって広がります。今後さらに増加する訪日旅行者を市に取り込めるよう、市では地域団体をはじめ多くの関係団体と連携しながら、さらににぎわいあふれる地域を目指していきます。



中国から訪れた人でにぎわう空港ロビー

### 中国路線（定期便）



**富士山静岡空港の中国路線で過去最多を記録**  
昨年の富士山静岡空港の搭乗者数は、54万9179人となり、前年より9万173人増えました。

これは、4年ぶりに50万人突破し過去2番目の人数で、搭乗率は67.2%で過去最高となります。

特に国際線は、前年の約1.5倍となる約8万人増の24万4177人となり、過去最多を記録。このうち、中国路線の定期便の搭乗者数は、6万2504人で、前年の約3.3倍です。

好調の中国路線は、5月に武漢便と南寧便、6月に長沙

便と鄭州便の4便が新たに定期便に加わり、全部で8都市29路線となる予定です。

また、国内線においてもフジドリムエアラインズ（FDA）が福岡便を3便から4便に増便する予定です。

**地域のにぎわいにつながる**  
こうした空港のにぎわいを地域のにぎわいに結びつけることが大切です。

東京や大阪などの観光地へ集中している外国人旅行者の中で、昨今、私たちが当たり前に感じる日常の風景や生活文化などに関心を持ち、地域の人たちとの交流を希望する

6月4日に6周年を迎えた富士山静岡空港では、国際線が好調で特に中国路線の拡大により、にぎわいをみせています。

問い合わせ 秘書広報課 河原 ☎(23)0052

# 空港のにぎわいを 地域のにぎわいに